

# AMCP レポート

Vol.11



## 資産運用

## 【外貨建保険商品は本当にお得？：後編】

前号では、セールスマンとN先生のやり取りをご紹介しました。今号では、それについての検証を致します。まず、

- ① 金利差のために日本の貯蓄商品より増える
- ② 円高で加入し、円安で手放せば「為替差益」も享受出来る については概ね正しいと思われます。

しかし、「実質“ノーリスク”と言って良いと思います！」についてはいかがでしょう？

ご存知の通り、この世界に「絶対」はありません。過去(1995年4月19日)に1\$ = 79円75銭を記録し、その年の7月末まで80円代であったこともある訳ですから、「実質ノーリスク」とってしまうのは「金融商品販売法」に抵触する恐れがあります。また、外貨建保険を医療法人で加入されている先生を散見しますが、医療法人運営管理指導要綱にある、「現金は確実な銀行又は信託会社に預け入れ若しくは信託し、又は国公債若しくは確実な有価証券に換え、保管する事」という条項にも抵触しますので注意が必要です。

(医療法改正によって、医療法人はますます非営利が求められていますので、今後指導強化されるものと…)

結論としては、事前にあらゆるリスクを承知して加入するのであれば、外貨の高利回り円高である今を利用しない手はありませんので、個人で加入する分には「お得」と言えるでしょう。

ところで、N先生は「幾ら準備出来るか計算し始めた」訳ですが、余剰資金を一気に投入し円安時に換金し、「為替差益」を狙いたいという色気が出てしまった模様です。

しかし、ほとんどの商品では「契約時の初期費用」が発生し、途中解約時には「解約控除」「市場調整価格」というものが、そして、円転(外貨を円に換えること)時には当然ながら「為替手数料」が発生します。

これらを考慮しておかないと、例え高利回りで円高での加入であっても元本が割れる恐れがありますので綿密に説明を受けて下さい。また、イギリスの諺に「すべての卵をひとつのかごに盛るな」とあるように、1つの資産に全額投資せず、値動きの異なる複数商品に振分けリスクの低減を図ることが大切ですので、1社だけの商品だけでなく複数社の商品を検討することも大切です。

決断を迫るようなセールストークに惑わされず、どうかご自身の資産については熟慮して下さい。

## ★次回は・・・、「Vol.12」：経営全般 【最近流行の『コーチングスキル』の検証】



をお送りします。

お問い合わせ・ご相談は...

**AMCパートナーズ株式会社**

〒541-0054 大阪市中央区南本町2-4-10  
Tel: 06-6262-2256/Fax: 06-6262-2257  
<http://www.amcp.biz>  
[amc-reception@amcp.biz](mailto:amc-reception@amcp.biz)